

保健体育 (Physical Education V)

担当教員名	松下 幸一、後藤 太之	
学科・専攻, 科目詳細	都市システム工学科 5年 前期 1単位 実技	
学科のカリキュラム表	一般科目 必修科目	
共生システム工学の科目構成表	教養科目 保健体育系	
学習・教育目標	共生システム工学	A-3(90%) B-3(10%)
	JABEE基準1(1)	(a)
科目の概要	スポーツの技術・能力を高めると共に、好ましい社会的性格を養い、スポーツを安全に楽しむことができるよう指導する。 軟式野球・ソフトボールは、バッティング・フィールディングの向上を目指す。卓球は、ゲームの中で様々なショットを行い技術向上を図る。バレーボールは、これまでの授業において基本技術・ルール等について学んでいるため、応用技術・ゲームを中心に授業計画をしている。	
テキスト(参考文献)	新版保健体育概論(近畿地区高専体育研究会編:晃洋書房)	
履修上の注意	・トレーニングウェア、運動靴を着用すること。 ・アクセサリ類、時計、その他不必要な物の着用を禁止する。 ・遅刻は開始20分まで。20分以後の参加は認めるが欠席扱いとする。	
科目の達成目標	(1)積極的に授業に参加し、社会性・協調性を向上させ、安全に楽しんでスポーツをすることを目指す。 学習教育目標/A-3,B-3 (2)自己の体調や身体能力を把握し、健康保持、さらには体力の向上を目指す。 学習教育目標/A-3 (3)各種目(軟式野球・ソフトボール・バレーボール・卓球)のルールや基本技術・応用技術を習得し、ゲームに参加することを目指す。 学習教育目標/A-3	
自己学習	各種目における技術、戦略、戦術、ルール等の学習を積み重ねる。また、日頃から体力の維持向上に努めて、体調管理にも気を配る。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/4以上の欠課
	出席・授業態度(80%) 実技テスト(20%)で総合的に評価し、評価点が60点以上の者を合格とする。	
	(1)履修上の注意事項を守り、安全に配慮することができる。またグループ(チーム)に貢献する意思を持って行動・プレイができる。 (2)ルールを理解し、ゲームに参加できる技術を習得している。 ・軟式野球・ソフトボール...キャッチボール ・バレーボール...パス(オーバー・アンダー)、サーブ ・卓球...フォアハンド、バックハンド、サービス	
連絡先	koichi@akashi.ac.jp(松下幸一) / tgotoh@akashi.ac.jp(後藤太之)	

授業の計画・内容	
第1週	ガイダンス 各種目の希望調査等
第2週	各種目にて練習とゲーム バレーボール、卓球、軟式野球・ソフトボール
第3週	〃 〃
第4週	〃 〃
第5週	〃 〃
第6週	〃 〃
第7週	〃 〃
第8週	〃 〃
第9週	〃 〃
第10週	〃 〃
第11週	〃 〃
第12週	〃 〃
第13週	〃 〃
第14週	〃 〃
第15週	〃 〃
期末試験実施せず	